NIE実践報告

1．タイトル：新聞討論会を核にした授業実践

2．学校名

静岡県　静岡市立東源台小学校

3．実践者名（代表者名）

柴田　剛秀

4．学年

６年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　９５名

6．単元（本時の学習課題）名

原発からエネルギー問題を考える

7．目標(狙い)

・原発やエネルギー問題について、新聞を使って調べてきたことやこれまでの学習をもとにして、グループでの話し合い活動に進んで参加することができる。

8．評価の視点

・調べてきたことや友達の意見をもとに、グループ内で進んで意見を交換することができたか。
・話し合い活動により、自分の考えを深めることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・原発、放射能、エネルギー問題などの調べ学習（新聞、インターネットなどを利用して）　…　３時間
・これからのエネルギーは何がふさわしいといえるだろうか（討論会）　…　１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①原発やエネルギー問題について調べてきたことを発表しよう
五つのグループに分かれての話し合い活動
・福島第一原発グループ　・浜岡原発グループ　・放射能問題を考えるグループ
・使う側からエネルギーを考えるグループ　・作る側からエネルギーを考えるグループ
②浜岡原発は今、運転停止をしています。このまま停止（廃炉）にしてしまうか、再稼動するか、あなたはどちらを選びますか。
・浜岡原発の存廃で悩む自治体を取材した中日新聞の新聞記事を示し、浜岡原発周辺の自治体も悩みながら協議を続けていることを知らせる。
・ワークシートに自分の考えを書かせる。
・少人数（６人前後）のグループで、自分が調べてきたことや提示された新聞記事から考えたことを話し合う。
③グループごとに、話し合ったことを発表しよう。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・浜岡原発の存廃について自分なりの意見をもち、真剣に討論している姿が見られた。
・表面的な意見だけではなく、新聞記事や調べてきたことをもとにした、根拠のある話し合いができていた。

12．成果と課題

○新聞スクラップや新聞討論会を通して、自分の考えをもち、進んで話し合い活動に参加しようとする意欲がみられるようになった。
○紙面から情報を収集する能力、そしてそれを活用していく力が身についてきた。
○新聞討論会を行ったことで、一つの課題についてお互いに意見を出し合い、まとめていく力がついてきた。
△本時では、討論会での教師の効果的な出番について、今後とも研究を深めていきたい。
△今後、ＮＩＥの学習を研修とかかわり合わせて、全校での取り組みに広げていきたい。